

Vol.11

令和6年10月

発行

いそべとしえ事務所

県政をもっと身近に感じてほしい…

だから私は、伝え続けます。

山口県議会議員 いそべとしえ

県政レポート



暑さ厳しい季節もやっと終わり、秋晴れの陽気が心地よい季節となりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。毎日の生活の中で感じること、ご相談を受けた問題、テレビや新聞等で報道された様々な事を整理し、今回の一般質問に取り上げました。議員の役割は、様々な問題に対する提起、課題解決、社会貢献活動など多岐にわたりますが、やりがいも大きいと感じる毎日です。皆様に押し上げていただいたからこそ、今の私があります。原点を忘れることなく、これからもしっかりと活動してまいります。時節柄、風邪など召されませぬよう、くれぐれもご自愛くださいませ。

「新しい時代の働き方を後押しする起業支援について」一般質問にて

県外からの移住も大歓迎！山口県の支援をご紹介します！

※詳しくは裏ページをご覧ください



山口県

山口県へテレワーク移住すると

移住支援金
最大 **100万円**

支給されます。

さらに

子育て世帯は18歳未満の子ども1人につき**+100万円**

※上記は東京23区在住者・通勤者が世帯で移住された場合

東京23区在住者・通勤者対象
やまぐちテレワーク移住等支援事業費補助金
単身：60万円 / 世帯：100万円

又は

東京圏・中京圏・近畿圏在住者対象
やまぐち創生テレワーク移住補助金
単身：30万円 / 世帯：50万円

魅力たっぷりな山口県へおいでませ!!! 県外のご家族やご友人へぜひ紹介してみてくださいね!



近隣の広島・福岡も補助金対象に拡大!

令和6年10月より実施!

- ・移住創業支援金 (経営金融化)
- ・移住就業支援金 (労働政策課)
- ・専門人材に係る移住就業支援金 (産業人材課)

世帯 50万円
単身 30万円
子1人あたり 50万円加算

補助金額

【負担割合】県1/2 市町1/2

国の地方創生移住支援事業を活用した全国的な制度

東京23区在住者・通勤者対象

やまぐちテレワーク移住等支援事業費補助金

山口県へテレワーク移住で

最大 **100万円**支給

単身：60万円 / 世帯：100万円

さらに

子育て世帯は18歳未満の子ども1人につき**+100万円**(予算枠の範囲内となります)

山口県独自で創設したテレワーク移住支援金制度

東京圏・中京圏・近畿圏在住者対象

やまぐち創生テレワーク移住補助金

山口県へテレワーク移住で

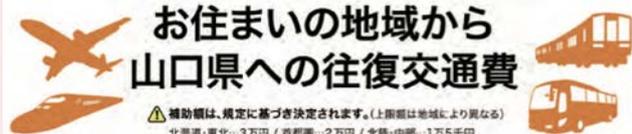
最大 **50万円**支給

単身：30万円 / 世帯：50万円

さらに

子育て世帯は18歳未満の子ども1人につき**+50万円**(予算枠の範囲内となります)

ワイワイ
YY!ターン
支援交通費補助金



お住まいの地域から山口県への往復交通費

△補助額は、規定に基づき決定されます。(上欄額は地域により異なる)

北海道・東北 3万円 / 首都圏 2万円 / 北陸・中部 1万5千円

近畿・四国・沖縄圏 1万円 / 中国・九州 5千円

山口県への移住を希望される方が、移住に関するツアーや暮らし体験などへの参加に要した交通費を補助します。

令和6年度 9月補正予算

今回の補正予算は、梅雨前線豪雨災害対策関連事業など、当面緊急を要する経費について、所要の補正を行うものであり、補正総額は37億2100万円、補正後の予算規模は7477億4200万円となっています。

(1) 一般会計

ア 総括

(歳入)

(単位 千円)

款	補正額	補正前の額	計
7 分担金及び負担金	2,925	3,575,558	3,578,483
9 国庫支出金	1,329,780	85,546,253	86,876,033
13 繰越金	576,754	0	576,754
15 県債	1,812,000	41,076,000	42,888,000
歳入合計	3,721,459	744,020,567	747,742,026

(歳出)

(単位 千円)

款	補正額	補正前の額	計
2 総務費	58,200	37,202,073	37,260,273
4 衛生費	4,394	23,390,430	23,394,824
8 土木費	1,521,300	71,050,781	72,572,081
11 災害復旧費	2,137,565	7,071,424	9,208,989
歳出合計	3,721,459	744,020,567	747,742,026

主な補正項目

① 令和6年梅雨前線豪雨災害対策関連事業 3,659百万円

被害状況に基づき、公共土木施設等の早期復旧を図るため、災害復旧事業21億3,800万円を追加するとともに、災害関連事業として、砂防事業や河川改修事業等を実施することとし、11億1,400万円を追加計上しています。

被災者支援については、被災世帯に対して生活福祉資金等の無利子貸付を行うこととし、債務負担行為を設定しています。また、道路、河川に流出した土砂や倒木の除去等を実施することとし、それぞれ所要の経費を計上しています。

② 公共交通燃料価格高騰対策支援事業 54百万円

重油価格の上昇が続き、燃料費の負担が増大しているフェリー事業者に対して、燃料費高騰分への補助の拡充を行います。

③ 大阪・関西万博出展事業 5百万円

来年度開催される大阪・関西万博において本県の魅力を国内外に広く発信するブース出展を行うため、運営準備等に係る所要の経費を計上しています。

④ その他

県内でツキノワグマが過去最多のペースで出没している状況をふまえ、
人身被害を防ぐために、パトロールの回数を増やす体制を強化します！

4百万円



今年度、山口県内で確認されたツキノワグマの被害や目撃情報の件数は、9月17日までに373件と、これまでで最も多いペースで増え、県は、冬眠前に活動が活発になることから、警戒を呼び掛けています。

このほか、建設事業に係る繰越明許費について、入札の不調等により、8億8,800万円を設定するとともに、債務負担行為として、年度を越える業務の一括契約を行うこととしています。一方、歳入予算については、歳出との関連において、国庫支出金13億2,900万円、県債18億1,200万円等を追加するほか、所要の一般財源については、繰越金5億7,700万円をもって措置しています。



人口動態等を踏まえた医療提供体制の構築について

県では、医療圏ごとの実情に応じて、人口動態などから医療需要を推計した上で「地域医療構想」を策定し、医療機関や受療者の代表者等で構成する地域医療構想調整会議における議論を通じて、その実現に向けた取組を進めてきたところです。今後も、調整会議で十分な議論が行われるよう、必要なデータの提供等による支援に努めてまいります。

県としては、新たな地域医療構想の策定にあたり、国から今後示される予定のガイドラインに基づき、作業を進めていくこととしています。今後も、市町や関係団体等と連携し、地域住民の皆様が安心できる医療提供体制の構築に取り組んでまいります。

海水浴場の魅力向上に向けた取組について

県では、白砂青松の風景を有する光市の虹ヶ浜海岸における、景観に配慮した防潮堤の整備などを行っています。また、市町など海水浴場の開設者が行う水難事故防止対策と併せ、海水浴シーズン前には、護岸や海浜などの施設の安全点検を実施し、異状箇所の対策を行うなど、安全で快適に利用できる環境の整備に努めています。海水浴場の開設者との適切な役割分担の下、優良事例の情報共有も図りながら、安全対策等に取り組んでいくこととしています。

新しい時代の働き方を後押しする起業支援について

県では、県内中小企業の中核的支援機関であるやまぐち産業振興財団などの関係支援機関と連携し、創業を志す段階から多様な支援を行っております。具体的には、情報発信をはじめ、創業応援施設における学びの場の提供や創業に必要な経費の支援、コーディネーターによる伴走支援などに取り組んでおり、この結果、昨年度の創業数は対前年度比1.4倍の318件となったところです。また、女性向けの創業支援や社会課題をビジネスの手法により解決する社会起業家の育成など、ターゲットを絞り込んだ創業の促進にも取り組んでいます。今後とも関係支援機関等とさらなる連携を深め、地域経済の活性化や雇用創出に資する起業や創業の支援に取り組んでまいります。

「フェーズフリー」な社会の実現を目指して

日常時と非常時を区別しない「フェーズフリー」の考え方は、防災対策を進める上で有用なものと考えています。県の地域防災計画において、公共施設を臨時ヘリポートや広域輸送拠点として利用すること等を明記しており、このことは、「フェーズフリー」の概念にも通ずるものと考えています。災害に備えて特別なことをするのではなく、普段から使う物や、日常的な行為を災害への備えに活かすという考え方は、防災をより身近なものとして感じ、自主的・主体的な行動を促す上で重要な視点となるものであり、広く周知や事例紹介を行っていくこととしています。

障がい者の文化芸術活動の推進について

障害のある方にとっての文化芸術活動は、社会参加を進め、自らの生活を豊かにし、自己実現を図る機会であるとともに、作品の鑑賞を通じて障害などに対する県民の理解の促進にもつながることから、大変有意義なものであると考えています。このため、県では、障害者の創作活動の発表の場や県民の方がその活動に触れる機会づくり、障害者アートの魅力の普及啓発、障害者の文化芸術活動に関する相談支援体制の整備等に取り組むこととしています。また、「アートセミナー」や障害者アートの裾野拡大のためのワークショップを開催します。さらに、電話相談やワークショップでの出張相談に応じる窓口を設置し、相談支援体制を整備しているところです。

国との連携については、今年度の「山口県障害者芸術文化祭」において、国が設置した障害者芸術文化活動広域支援センターと初めて協働し、中国・四国地域の優れた芸術作品との合同展示を行うこととしています。このことにより、障害者文化芸術活動の輪が広がり、広域的な交流やサポート体制が生まれる等、県内の障害者文化芸術活動の一層の活性化が期待できるものと考えています。

兵庫県知事のパワハラ疑惑の告発の対応で注目される「公益通報」

公益通報制度とは

- ①不正行為を発見した従業員が気軽に通報できるように、不正行為の通報を受け付ける窓口を作る
- ②会社は、不正行為を通報した従業員に対して不利益を与えてはならない



今回の9月山口県議会では公益通報について議論されました。公益通報の対象に知事になった場合、県は、「**弁護士の指示を受けて対応する**」としました。兵庫県の斎藤知事は、自身のパワハラ疑惑などを告発した文書を公益通報として扱わず、告発した職員を特定して懲戒処分とした対応が問題視されました。

知事や幹部職員が通報の対象となった場合には、外部窓口である弁護士の指示をうけて対応する

村岡知事は、表敬訪問など伺った先で菓子などを受け取ることはあるが、以前から職員で分けていて、個人的に持ち帰ることはなく、物品を要求していると感じられないよう、言葉を丁寧に選ぶことを心がけているとのこと。パワハラはなくしていかないといけないと同時に、「自由活発な議論や話をしやすい環境が整って組織の力が発揮できる。県民に役立つ仕事をする上で基本的な条件だ」と述べました。

山口宇部空港の台湾チャーター便について



外国人観光客を直接本県に呼び込むことができる国際便の誘致について、本年2月に続き、来年2月に山口宇部空港と台湾桃園国際空港を結ぶチャーター便が運行される見込みとなった。

※運航会社：チャイナエアライン ※運航機材 A321neo 180名程度

2025年
2月21日(金)

台湾桃園国際空港 → 山口宇部空港
山口宇部空港 → 台湾桃園国際空港

2月24日(月・祝)

台湾桃園国際空港 → 山口宇部空港
山口宇部空港 → 台湾桃園国際空港



やまぐちJOBフェスタ

10月26日(土)、27日(日)
10時~16時

県内企業・団体による技術や製品を生かしたものづくり体験、科学実験、デモンストレーションなど

県産業政策課 083(933)3166



「ゆめ花マルシェ2024」
と同時開催



・きららでキラリ! 県民つながるフェスタ ・体験型「消費のSDGs」イベント

10月26日(土)、27日(日) 10時~16時

県民活動の魅力やPRするステージ発表やブース出展、消費のSDGsについて楽しみながら学べるクイズラリーなど

県民生活課 083(933)2601



あつまれげんキッズ

~おやこでたのしむうんどろ!あそび!~

11月2日(土)

遊びを通じて親子が一緒に体を動かせる各種運動プログラムの体験イベント

県スポーツ推進課 083(933)2436 / 県スポーツ協会 083(933)4697



ダンス☆オン☆きらら

12月15日(日)
10時~16時

さまざまなジャンルのダンスステージや文化芸術を体験できるワークショップなど

県文化振興課 083(933)2610



いそべとしえ事務所は、老若男女気軽にお越しいただけるよう、女性スタッフが色々工夫してくれています。季節の花はもちろんですが、何よりも大切にしていることは、お客様を笑顔でお迎えすることです。様々な世代の方とのコミュニケーションは、何よりも学びになります。皆様、どうぞ気軽にお越しくださいませ。お待ちしております。